

## 第7回 日野市住宅ストック活用推進協議会

日時：平成30年11月14日(水)

14時～16時

場所：庁議室（市役所4階）

### 【 次 第 】

1. 開会

2. 配布資料確認

3. 議事

1. 改修費補助申請について

**資料1**

4. 報告事項

1. 専門家派遣事業の実施状況について

**資料2**

5. 閉会

#### <<配布資料>>

資料1 空き家活用に伴う改修費等補助について  
地域貢献活用チェックシート

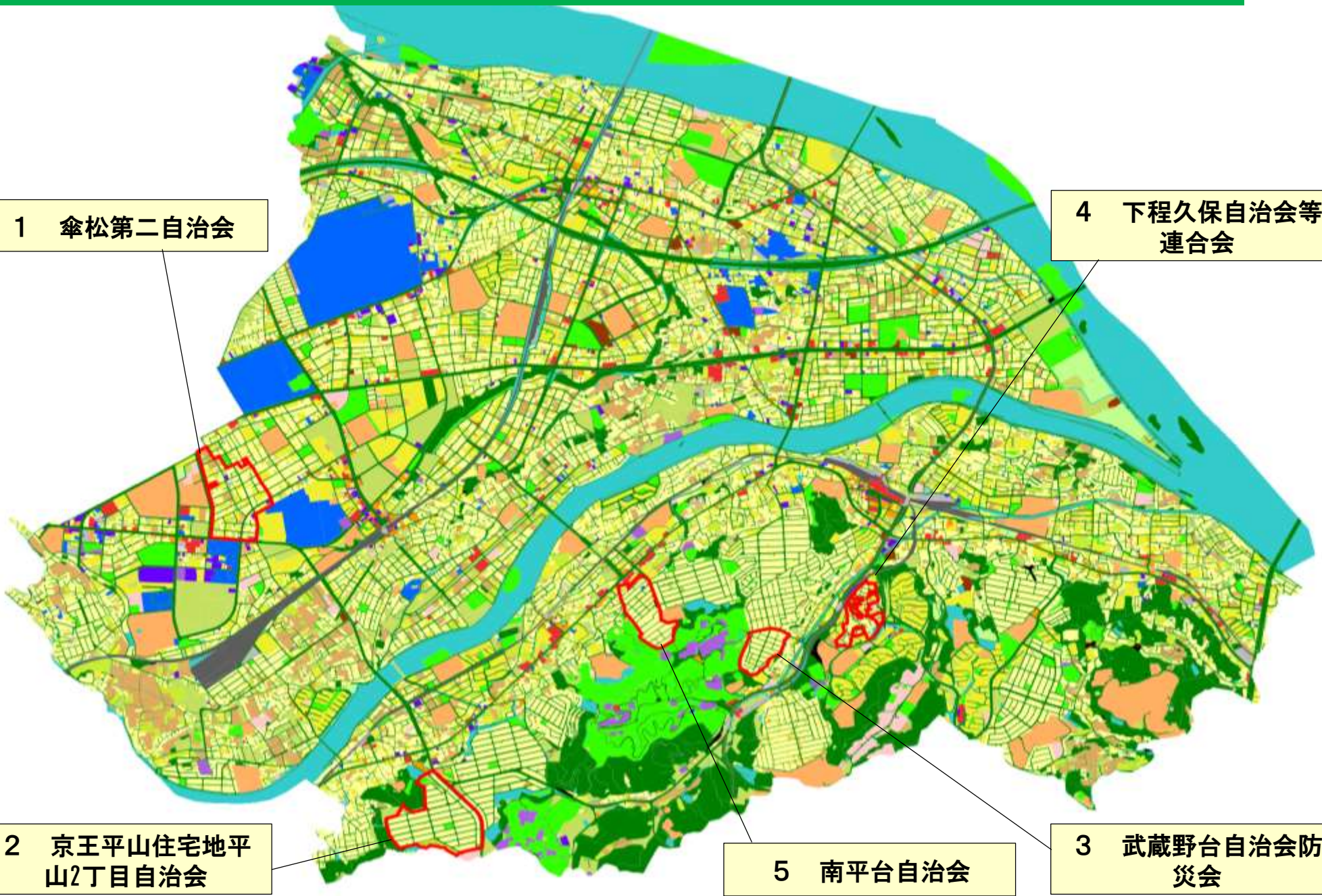
資料2 自治会等に対する専門家派遣事業の実施状況

参考資料1 第6回住宅ストック活用推進協議会議事要点録

## 空き家活用に伴う改修費等補助について

## ＜空き家活用の概要＞

基礎的事項	① 空き住宅等の所在地：西平山4丁目地内	② 空き住宅等の種類：空家等（一戸建住宅）
	③ 用途地域：第1種低層住居専用地域	④ 地区計画等：西平山地区地区計画 （農と住宅が調和する地区）
活用の概要	① 補助対象事業の種類：スタートアップ改修・耐震診断	
	② 地域貢献活用の目的：西平山の豊かな自然の中で子供がのびのびと遊ぶことで、地域を愛し、自然を大切に育てる世代を子育て中の人とともに育てる。	
	③ 地域貢献活用の内容（1階部分利用）： ●子どもが主人公の居場所づくり ●地域での子育て中の人を対象とした子育て広場や講座の開催 ●近隣住民を対象とした交流事業 地域貢献活用外の内容（2階部分利用）：団体の事務作業の場	
	④ 空き家耐震診断の内容：耐震診断、家屋劣化調査・設備調査（診断以外は対象外） 耐震診断費用：168千円 補助金交付申請額：100千円（上限100千円、補助率：10/10）	
	⑤ 空き家改修の内容（1階部分のみ実施）： ●雨漏りによる劣化した板の間の張替え ●雨漏り箇所（屋根）の改修 ●窓ガラス破損個所の取り換え 補助対象事業費：750千円 補助金交付申請額：400千円 ← $750 \times 4 / 5 > 400$ （自己負担約35万円）	
	⑥ 活用事業者：特定非営利活動法人子供へのまなざし 代表：中川 ひろみ 主な事業：野外保育「まめのめ」の活動 地域での子育て中の人を対象とした子育てひろばや講座の開催 子どもが主人公の居場所づくり 近隣住民を対象とした交流事業	
活用の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年7月：所有者と面会后、活用に向けた活動開始</li> <li>・平成29年4月：契約締結、活用開始（地域向けイベント、寺子屋、子ども食堂等を実施。管理人：稲村氏）</li> <li>・平成30年3月：稲村氏が管理困難となり、活用中断。</li> <li>・平成30年4～7月：所有者と活用希望者のマッチング実施、活用希望者の決定（空き家の状態）</li> <li>・平成30年8月：所有者と子どものまなざしが契約締結（2年半）、活用に向け準備開始</li> </ul>	



# 専門家派遣 実施状況のまとめ(11月時点)

## (1) 傘松第二自治会(2年目)

目標の種類：居場所づくり

実施状況：課題（活用できる空き家が見つからない、参加者が固定化）に直面

- 活用できる戸建空き家がない場合に、専門家派遣事業として出来得る方法を整理（拠点型から分散型へ）
- 空き部屋等を活用して、小さな活動が地域内に積み重ねられるようなしくみの試行

## (2) 平山2丁目自治会(2年目)

目標の種類：空き家の見守り

実施状況：空き家所有者へのアンケートを発送中

- 空き家を見守ることについて賛同する所有者の空き家に対して、実際に見守りの試行等実施
- 所有者との付き合い方を整理

## (3) 武蔵野台自治会防災会(1年目)

目標の種類：居場所づくり

実施状況：杉の子ひろばに隣接する空き家の活用に向けて、所有者と協議実施、11月の地域活動時の活用を試行

## (4) 下程久保自治会等連合会(1年目)

目標の種類：居場所づくり

実施状況：地域内の空き家の把握実施済み。→まずは、青空WS実施により取り組みの周知を図る

## (5) 南平台自治会(1年目)

目標の種類：空き家の見守り

実施状況：空き家所有者・地域住民へのアンケート実施、集計中。

- 空き家の見守りを通じて、地域の課題解決に向けた取り組みの方向性を探る

# <1 傘松第二自治会の活動について >

**対象となる地域の状況 対象地域：旭が丘2丁目**

世帯数：約800（内、団体の会員数：295）

地域の課題 地域内の空き家の数は相対的に多くはない状況である。また地域には地区センターのほか、公共施設等もある状況だが、日々、地域住民が気軽に集い、顔を合わせて交流できる場がない状況。

**空き住宅等に係る活動 派遣専門家：篠原氏**

活動の目標 地域の福祉に貢献する事業を行っている団体やPTA等の子ども関係の団体などと連携して、地域にある空き家を活用した集いの場をつくり、地域の子ども、老人等が気軽につどえる環境をつくる。

具体的活動内容

- ・具体的な場所（空き家）を見つける
- ・場で行いたい活動イベントの具体化、試行等
- ・継続的に運営できる地域の組織体制づくり

活動想定人員 自治会役員、ふるさと祭り実行委員会、NPO法人はっぴーらいふ、ボランティアグループこすもす等、約10名

活動の想定スケジュール（今年度）	活動の実施状況と今後の予定
①9月後半：第1回ワークショップ 昨年までの活動のおさらい、運営組織体の検討	●顔合わせ：9月8日(土)@地区センター 参加者自己紹介、昨年度のおさらい、今後の流れ
②11月：第2回ワークショップ 場で行いたい活動イベントの検討	●1回目話し合い：10月14日(日)@地区センター 地域の人材の発掘。イベント（本の交換会）。
③12月：第3回ワークショップ 運営方法、管理方法の検討	●自治会員との意見交換会：11月4日(日)@P l a n T 現状の把握、今後の活動の検討 今後の予定
④1月：第4回ワークショップ 場で行うイベント等の試行	○活動の周知活動：11月18日(日) @地区センター 地域のもちつき大会の時にチラシ配り、情報収集
⑤3月：第5回ワークショップ（最後） 今後の課題整理、活動スケジュールの検討	○2回目ワークショップ 12月9日(日)@地区センター 再度地域の人材の発掘（イベント）、活動の内容等の検討

## <2 京王平山住宅地平山二丁目自治会の活動について >

<b>対象となる地域の状況 対象地域：平山2丁目</b>	
世帯数：約500（内、団体の会員数：430）	
地域又は空き家の状況	防犯・防災、地域活性化の観点から、地域の空き家(所有者)と上手く付き合う方法・ルールが必要。
<b>空き住宅等に係る活動 派遣専門家：国重氏</b>	
活動の目標	地域の空き家状況を自治会で把握できるようにし、所有者等と連絡できるような体制を作るとともに、若い世代への関心を高めてもらえるように空き家活用による交流の場づくり。
活動内容	・自治会で空き家を把握し、共有する方法の確立、試行、運営 ・空き家見守りの延長で空き家空き地活用(菜園化・駐車場利用等の試行等)
活動想定人員	防災防犯部員14名、ボランティア6名

活動の想定スケジュール（今年度）	活動の実施状況と今後の予定
①9月後半：第1回ワークショップ 昨年度の事業成果の共有、自治会内の空き家の把握状況の確認	●顔合わせ 9月9日(土)@旧平山台小 参加者自己紹介など、昨年度のおさらい、今後の流れ
②11月：第2回ワークショップ 共有する方法の検討、試行。所有者アンケートの実施。	●自治会役員会 10月27日(日)@旧平山台小 役員への活動の周知、アンケート案の検討
③12月：第3回ワークショップ アンケート内容を踏まえた地域による空き家見守り試行の確認、実施	●1回目話合い 11月3日(土)@旧平山台小 空家所有者へのアンケート案確定、空家等の共有方法の検討、試行
④1月：第4回ワークショップ 空き家見守りの試行した結果の検証、ルール化検討。	●アンケート送付（15通） 今後の予定
⑤3月：第5回ワークショップ（最後） 空き家の把握・見守り方法の運営の確認	○2回目ワークショップ 12月22日(土) アンケート集計結果の報告、活動内容の検討

## <3 武蔵野台自治会防災会の活動について >

**対象となる地域の状況 対象地域：程久保8丁目**

世帯数：約210（内、団体の会員数：15）

地域又は空き家の状況

地域内に地区センター等、住民が交流できる場所(家屋)が無く、隣の地域の地区センターに行くにも勾配がきついため、高齢者は苦勞している。

**空き住宅等に係る活動 派遣専門家：市川氏**

活動の目標

防災広場「杉の子広場」のように、防災・防犯、地域活性化のために、活用できる場所を作る。

具体的活動内容

- ・地域内にある空き家で、地域の憩いの場を作る
- ・広場と新しい場による地域の防災防犯の拠点化の推進

活動想定人員

自治会防災会、杉の子広場実行委員会、自治会役員、約15名

**活動の想定スケジュール（今年度）**

- ①10月:第1回ワークショップ  
活用できる空き家の検討、活用内容の検討
- ②11月第2回ワークショップ  
杉の子広場との連携方法の検討、改修内容の整理
- ③12月：第3回ワークショップ  
空き家を使つてのイベントの検討、試行
- ④1月：第4回ワークショップ  
運営方法の検討
- ⑤2月：第5回ワークショップ（最後）  
今後のイベント、広場との連携の検討

**活動の実施状況と今後の予定**

- 10月25日（月）@空き家\_N邸  
空き家所有者と活用に関する協議
- 今後の予定
- 11月18日（日）@地区センター  
イベント（芋煮会）の確認+空き家活用時のルールの確認等実施
- 11月25日（日）@防災広場  
広場での芋煮会時の空家の部分利用（玄関、居間、台所、便所、庭）

## <4 下程久保自治会等連合会の活動について >

**対象となる地域の状況 対象地域：程久保1丁目**

世帯数：約250（内、団体の会員数：200）

地域の課題 地域内には老朽化している家屋が多く、防災・防犯の観点で不安がある。また、程久保駅付近には、近隣住民が集える場所が少なく、近所付き合いの希薄が進んでいる。

**空き住宅等に係る活動 派遣専門家：山崎氏**

活動の目標 程久保駅付近の地域コミュニケーションの活性化と、児童の見守りや地域の防災・防犯力の向上に資するような地域の拠点づくり

具体的活動内容  
 ・程久保1丁目地内の複数自治会等が継続して活動できる組織づくり  
 ・空き家や跡地等、場づくりを行う上で必要となる地域資源の活用案検討、試行等

活動想定人員 自治会会員を中心に、3中アクションプラン、PTA、明星大学生等、約20名

活動の想定スケジュール（今年度）	活動の実施状況と今後の予定
①10月：第1回ワークショップ 空き家や空き地（地域資源）の洗い出し、地域の課題の共有	●顔合わせ 9月7日(金)@福祉支援センター この活動の主旨確認。参加者自己紹介など
②11月：第2回ワークショップ 拠点でしたいこと・運営主体などの検討	●1回目ワークショップ 10月9日(木)@高幡台老人ホーム まちあるき、地域の課題の確認、空きスペース視察
③12月：第3回ワークショップ 拠点づくりのプロセス・地域ニーズと拠点づくりの確認等	●2回目ワークショップ 11月13日(火)@防災倉庫広場 青空WS、空き空間の活用を基本として通学路の改善策を考える 今後の予定
④1月：第4回ワークショップ 空き家等を使ったイベント等の試行	○3回目ワークショップ 12月中旬予定 青空WSで出た意見を基に通学路改善イベント試行等
⑤2月：第5回ワークショップ（最後） 今後の活動内容の整理	



## <5 南平台自治会の活動について >

<b>対象となる地域の状況 対象地域：南平2丁目</b>	
世帯数：約530（内、団体の会員数：350）	
地域の課題	地域内にある多くの空家の所有者との連絡が取れず、地域の住環境や安全安心の面で課題と感じている。
<b>空き住宅等に係る活動 派遣専門家：連氏</b>	
活動の目標	地域内の空き家等の所有者の意向等を把握し、放置状態の早期解消を促し、地域の安全・安心、住環境向上を目指す。
具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域内の空き家等の現状把握と所有者意向調査を実施（アンケート等）</li> <li>・ 南平台地域の望ましい住環境（将来像）とその改善について意見交換、方針化</li> <li>・ 空き家所有者等への情報提供内容の検討、対応方法、試験的運用、ルール化</li> </ul>
活動想定人員	自治会の当該年度の役員でまずはスタートしていく。

活動の想定スケジュール（今年度）	活動の実施状況と今後の予定
①10月:第1回ワークショップ 地域の空き家等の現状把握、共有、所有者意向調査の内容検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●顔合わせ 9月4日(火)@地区センター この活動の主旨確認。参加者自己紹介など</li> <li>●1回目ワークショップ 9月26日(水)@地区センター アンケートの内容・回収方法等の検討</li> <li>●アンケート送付 (24通)</li> </ul> 今後の予定 ○2回目ワークショップ 11月22日(木) アンケート集計結果の報告、活動内容の検討
②11月:第2回ワークショップ 南平台の課題共有及び地域の将来像の意見交換	
③12月:第3回ワークショップ アンケートの結果共有、地域の将来像の方針化	
④1月:第4回ワークショップ 空き家所有者への情報提供内容、対応方法の検討	
⑤2月:第5回ワークショップ(最後) 運営主体の検討、今後の活動の整理	